

武蔵野市合流式下水道緊急改善事業事後評価委員会（第1回）

日 時 平成28年1月14日（木曜日） 午前10時00分～午後11時45分  
 場 所 武蔵野市役所 東棟6階 603会議室  
 出席委員 A委員、B委員  
 市事務局 環境部下水道課長、下水道課職員

<配布資料>

次第

資料1 武蔵野市合流式下水道緊急改善事業事後評価委員会設置要綱

資料2 武蔵野市合流式下水道緊急改善計画の概要

質疑応答者	質疑応答
	<p style="text-align: center;">～ 開会 ～                      ～ 環境部長挨拶 ～                      ～ 出席者紹介 ～                      ～ 議事 ～</p>
<p>事務局 B委員 事務局</p>	<p>(1) 委員長の選出                      要綱第4条2項に基づき互選により委員長の選出をお願いしたい。                      A委員を推薦する。                      異議がないため、A委員に委員長をお願いしたい。                      これからの進行は委員長にお願いする。</p>
<p>委員長 事務局</p>	<p>(2) 委員会の運営事項について                      委員会の運営について事務局より説明をお願いする。                      会議の公開・議事録の取扱い及び公開についてであるが、市では情報公開                      条例に基づき原則公開としており、また、議事録の取扱いについては全文録                      または要約により公開している。会議の公開及び議事録の取扱いについて協                      議をお願いしたい。</p>
<p>委員長 事務局</p>	<p>他の会議では傍聴を認めているか。                      認めている。</p>
<p>委員長 B委員</p>	<p>傍聴を認めることでよいか。                      異議なし。</p>
<p>委員長 事務局</p>	<p>他の会議では議事録は全文録か要約か、また、委員名は匿名か。                      議事録は全文録又は要約の場合もあり、委員名はA委員など匿名としてい</p>

<p>委員長</p>	<p>る場合が多い。 では、公開する議事録は要約とし、委員名は匿名としたいが、それでよいか。</p>
<p>B 委員</p>	<p>異議なし。</p>
<p>事務局</p>	<p>(3) 事後評価委員会の役割について</p>
<p>事務局</p>	<p>本市の合流式下水道改善事業については、合流式下水道緊急改善計画を策定し、国から社会資本整備総合交付金を受けて実施した。そのため、事業主体は効果的かつ効率的に実施し、その内容を公表する事により事業成果をより分かりやすく地域住民に示すことが必要であり、その目的に沿う形で計画期間終了後に評価を行うこととされている。</p> <p>評価にあたっては透明性・客観性の確保を目的として、学識経験者等の第三者の意見を求めることとされているため、本委員会での審議をお願いするものである。</p> <p>要綱第 2 条各号に掲げられている事項について、検討していただくことになる。具体的な流れとしては、本日は計画の概要についてご説明し、次回の委員会では目標の達成状況等の検証結果について説明の上、事務局が作成した評価シート案について今後の方針を含め、審議いただくこととなる。</p> <p>委員会での意見を評価シートに反映の上、完成した評価シートは市のホームページなどで市民へ公表するとともに国へ提出する。</p> <p>(4) 武蔵野市合流式下水道緊急改善計画の概要について</p> <p>事務局より概要説明（別紙資料 2 参照）</p> <p>&lt; 質疑応答 &gt;</p>
<p>B 委員</p>	<p>資料 2 では、合流改善計画の内容は記載されているが、評価結果が見当たらないのはなぜか。</p>
<p>事務局</p>	<p>本日は計画の概要を説明させていただき、内容を理解していただいた上で、次回は計画に基づき対策を実施した後のシミュレーション結果を示し、審議いただきたいと考えている。</p>
<p>B 委員</p>	<p>3 頁で計画期間が平成 25 年度までと記載されているが、工事は完了しているのに、数値は確定しているのではないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>工期の遅延により合流改善施設設置工事が平成 26 年度へ繰越しとなったため、現在、実績値を取りまとめ、シミュレーションにより最終的な数値を計算している。</p> <p>次回の委員会では計画の数値と比較し、計画通り水質が改善されているか等を審議いただきたい。</p>
<p>B 委員 事務局</p>	<p>4 頁の「現在」とはいつのことを指すか。 この「現在」とは計画作成時のことで、計画を作成した平成 21 年度とな</p>

B 委員	る。 10 頁に「目標達成」、「目標未達成」とあるが、4 頁の①（これまで設置されてきた雨水浸透施設による改善効果）と②（今後設置されるであろう雨水浸透施設による改善効果）の対策だけでは目標を達成出来ないのでは、③（当面の目標を達成するために必要な対策施設による改善効果）を加えたとの認識でよいか。
事務局	そのとおりである。
B 委員	6 頁の目標削減負荷量の計算は、国などの指針に基づいて計算したものか。
事務局	国から合流改善計画策定の手引きが示されており、それに基づいて算出している。
B 委員	何年度の数値に対して目標を達成したと判断するのか。
事務局	雨水浸透施設の設置など対策を全く行っていない状態を対策前の値「ゼロ」と仮定し、計画で設定した目標値に対して判断することになる。
B 委員	どのように各頁の目標値を定めたのかが分かる資料、またどのような根拠で計算を行ったのかが分かる資料を用意してもらいたい。
事務局	了解した。
B 委員	12 頁のグラフの独立降雨とは何年のデータを用いたのか。
事務局	過去 10 年の平均に最も近かった 2003 年のデータを使用している。 このグラフは国の手引きに基づき作成したもので、中間付近で青く示している部分は放流水質が良好なものを除き未処理放流があったと考えられる独立降雨を示しているが、この部分の回数を半分に減らすには、雨水浸透施設等の設置により下水道管に流出する水量をどれだけ抑制すればよいかを表している。
委員長	誰でも理解できるような分かりやすい計算根拠を用意してもらいたい。
事務局	了解した。
B 委員	12 頁のグラフで独立降雨の 51 だけ飛び出ているのはなぜか。
事務局	独立降雨は左から未処理放流が無かったもの、未処理放流があったもの、未処理放流はあったが水質が良好なものの順にグループ毎に並べられており、そのグループの中で、時間降雨強度の低いものから順に並べられているためである。
B 委員	分かりやすいようにグラフの表現を考えた方がよいのではないか。
委員長	市民に分かりやすく効果を伝えるには、分かりにくい箇所があるので次回までに根拠となる数値や数式をまとめてもらいたい。
事務局	了解した。市民に公表する事業評価シートの様式はもっと分かりやすく示したものとなる。

<p>委員長 事務局</p>	<p>他市の評価シートを確認できるか。</p> <p>他市では合流改善施設（貯留施設）を整備したところはないが、貯留浸透施設の設置は行っており、評価シートは他市も作成しているので、後日メールにて送付する。</p> <p>～ 以上で概要説明を終了し、現地視察（吉祥寺東町一丁目合流改善施設）を行った。 ～</p>
--------------------	---